

笛吹市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPIに係る取組への評価

基本目標 主な取組	目標		現状値 (H26年度)	H31目標値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	取組の評価	外部有識者の評価	今後の方針	今後の方針の理由
1. 結婚・妊娠・出産・子育てまで継続的なサポートをする	合計特殊出生率		1.55	1.58	算定中					観察	出生数と出産可能年齢女性数の関係により、一概に悪くなったとは言いがたい。0歳児の数は前年より伸びていることは評価される。子育て支援全般について、わかりやすく周知し人口増につなげる必要がある。	取組の継続	結婚、妊娠、出産、子育てと子どもを持つ環境の整備と支援を引き続き行い、まずは出生率より、出生数に注視して取り組む。
① 働く女性の支援	地域子育てクラウドシステム利用者数	人	0	300	5					観察	運用開始時期が年度末と遅く、現時点での評価はし難い。試行者より、評価も得ていることから、今後の取組に注視したい。	取組の発展	子育て世代の負担軽減に繋がる。試行者の意見を早期に反映し、運用開始、周知による多数の活用を推進する。
② 結婚につながる機会の創出	結婚相談事業や出会いイベントによる成婚数	件/年	0	4	0					評価できない	今年度も0件で評価できない。市の人口増、特に出生率上昇には欠かせない取組のため、今後の創意工夫を望む。	取組の見直し	結婚の高齢化が出生率の低下に繋がっていると考えられる。未婚率、結婚年齢の低下に寄与するよう、取組内容の見直しを行い、魅力あるイベント等の実施を検討する。
③ 子育てへの支援	合計特殊出生率		1.55	1.58	算定中					観察	出生数と出産可能年齢女性数の関係により、一概に悪くなったとは言いがたい。0歳児の数は前年より伸びていることは評価される。子育て支援全般について、わかりやすく周知するとともに、市内子育て支援機関との連携・活用により人口増につなげる必要がある。	取組の継続	結婚、妊娠、出産、子育てと子どもを持つ環境の整備と支援を引き続き行い、出生数の増加に取り組む。当市には県の産前産後ケアセンターが存在することから、連携を密にした支援体制の構築を行う。
④ 未来を創造する教育の充実	学校が楽しいと思う児童の割合	%	87.8	90.0	86.3					評価できない	微減であるが、評価できない。本数値の低下は、人口流出に繋がる可能性があることから、今後の取組に期待したい。	取組の見直し	学校への不満は、近隣市町村への転居の可能性を大いに秘めており、人口減の大きな原因となる。今後の取組の見直しを行う。
2. 地域の資源を活用し、地域産業を育み、新たな産業を創出し、雇用に創出する	年間宿泊者数	万人	129	140	154.8					評価できる	目標値を遥かに超えたことは評価できる。地域経済に直接寄与することから、更なる目標をたて積極的に取り組む事を望む。インバウンド対応の継続的取組を望む。	取組の継続	宿泊者数の分析を行い、他の取組と連携し、宿泊者数の増加・リピーター確保に向け積極的取り組み。外国人観光客の獲得に向け、Wi-Fiの設置、アプリの活用、PR等引き続き取り組む。観光入込客数が前年を下回っていることから、集客への検討・取組を行う。
	認定農業者数	人	710	830	826					評価できる	平成31年目標を早期に達成できる数値で評価できる。桃・ぶどう日本一継続のため、継続的な取組を望む。	取組の継続	桃・ぶどう日本一継続のため、就農者支援のための人材確保と新規就農者に繋がる取組を推進する。
① 外国人も楽しめる観光地を構築	宿泊客数	万人	129	140	154.8					評価できる	目標値を遥かに超えたことは評価できる。地域経済に直接寄与することから、更なる目標をたてる事を望む。	取組の継続	宿泊者数の分析を行い、他の取組と連携し、宿泊者数の増加・リピーター確保に努める。観光入込客数が前年を下回っていることから、これへの取組を行う。
	うち外国人宿泊者数	万人	10	15	17					評価できる	目標値を超えたことは評価できる。オリンピックに向けて更なる増加が見込まれることから、更なる目標をたてることを望む。	取組の継続	約2倍に近い伸びとなっている。宿泊者数確保に向けた取組を推進する。
② 好循環農業に向けた支援	新規就農者・新規就農後継者数	人	24	40	18					評価できない	平成26年度の数値に比べ数が減ったことは評価できない。認定農業者が増加していることから、新規就農者に繋がる取組に期待したい。	取組の見直し	桃・ぶどう日本一継続のため、就農者支援のための人材確保にあわせ新規就農者に繋がるよう取組み、初期の負担となる土地や機械等を支援する組織づくりについて検討を行う。また、移住定住の取組とあわせ、新規就農者の増加に向けた取組を行う。
	農業生産法人設立数(累計)	法人	25	35	26					評価できる	安定的な農業経営に寄与し、就農者の増加に繋がる可能性があることから、増加は評価できる。	取組の発展	認定農業者の増加とあわせ、魅力ある農業生産法人を育成することにより、更なる就農者増加を見込むことができる。今後も更に発展させ、増加に向けた取組を行う。
③ 地域産業の振興を支援	新規商店の出店数(累積)	店	0	25	4					評価できる	商店の新規出店が増えたことは、地域の活性化、雇用の観点から評価できる。	取組の継続	新規出店により地域が活性化することから、更に継続し新規出店の支援を行う。また、外国人観光客が増加傾向にあることから、外国人対応の支援を行う。
④ 広域連携による経済の活性化	広域ツーリズム	種	0	1	7					評価できる	県及び近隣市町村との連携により目標を遥かにしのぐ数値に達したことは評価できる。更なる地域間連携による魅力の創出に努めることを望む。	取組の継続	多種多様なツーリズムを構築は、リピーターを増やす可能性を秘めているため、近隣市町村と連携のもと更なるツーリズムの開拓を行う。

笛吹市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPIに係る取組への評価

基本目標 主な取組	目標		現状値 (H26年度)	H31目標値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	取組の評価	外部有識者の評価	今後の方針	今後の方針の理由
3. 誰もが暮らしやすいまちをつくる	転入者数－転出者数(転出抑制)	人	-246	-126	-95					評価できる	目標値をクリアしたことは評価できる。経済の大きな流れに左右されることが考えられ、今後影響が小さくなるよう耐力をつけることを望む。	取組の継続	転出は減少したが、転入は横ばい状態である。転入の促進について、移住の受入に向けた取組の強化に努める。
① 災害に強い地域づくりを推進	自主防災組織への簡易無線整備率	%	0	100	0					評価できない	0%であり、その取組については評価できない。地域の安全・安心につながり、転出者減、転入者増に繋がる可能性があることから、早期目標達成を望む。	取組の継続	市民の安全・安心につながり、間接的に人口増加に寄与すると考えられる。災害時には有効な通信手段となることから、早期整備に取り組む。
	市営バス利用者数	万人	3.0	3.3	3.1					評価できる	微増であるが、評価できる。今後、高齢者の増加に伴うニーズは増えると予想されることから、更なる利用者増に向けた取組を望む。	取組の発展	今後、高齢者の人口は増加する推計となっており、公共交通に寄せられる期待は、大きい。また、免許返納制度とも連携し、高齢者が安全に安心して生活できる取組を推進する。
② 誰もが活躍できる地域の交流づくりを推進	二地域居住・お試し居住利用者	件/年	0	5	0					不明	今年度、移住定住の担当が設置されたことを踏まえ、今後の取組に期待したい。当会議に参加している機関等の協力を得る必要がある。	取組の発展	国内注目されている取組であり、大都市に近く、交通の便を考慮した場合、有利な地域と考える。移住定住の足がかりとなる取組であり、早期実現に向けた取組を行うとともに各種機関等の協力・支援・連携のもと取組む。
	地域活動を担うグループ	団体	0	20	5					評価できる	団体・グループが立ち上げられたことは評価できる。今後、更に増え、地域活性化に寄与し、人口増に繋がるよう取組を期待する。	取組の継続	地域のコミュニティづくり、強いては魅力に繋がる取組であり、更に団体を増やし、活力ある地域づくりを推進する。活動団体の支援策について、あわせて検討を行う。
4. 笛吹市を知り、訪れ、住んでみたくなる流れをつくる	転入者数－転出者数(転入促進)	人	-246	-126	-95					評価できる	目標値をクリアしたことは評価できる。経済の大きな流れに左右されることが考えられ、今後影響が小さくなるよう耐力をつけることを望む。	取組の継続	転出は減少したが、転入は横ばい状態である。転入の促進について、移住の受入に向けた取組の強化に努める。
① 移住定住の促進	移住者	件/年	2	5	0					観察	空き家バンクを活用した移住者が0件であったことは評価できない。今年度、移住定住の担当が設置されたことを踏まえ、住環境と働く場の情報提供する取組に期待したい。当会議に参加している機関等の協力を得る必要がある。	取組の見直し	空き家の登録件数が少ない。移住定住担当が新設され、空き家バンク登録及び職業に係る情報提供への取組を工夫し、移住希望者のニーズに応えられるよう当会議の参加機関の協力を得ながら支援メニューの拡充を検討する。
② 企業誘致活動の推進	サテライトオフィス入居希望団体	団体	0	5	0					観察	首都圏の大手企業の反応が小さく、希望団体に繋がらなかったことから、今後の取組に期待する。	取組の見直し	大手企業だけではなく、対象範囲を拡大し、ニーズ調査等を行う。直接人口増加に繋がる取組であり、活性化に必要な取組であることから、これまでの内容を見直して取り組む。